

# 研究の実施に関する情報公開

令和 8 年 5 月 20 日

鹿児島医療センターでは、倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施いたします。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

<b>頭部血管肉腫に対する強度変調回転放射線治療を用いた治療効果と照射線量の研究</b>
<b>1. 研究の対象</b> 2017 年 7 月 1 日から 2025 年 9 月 1 日の期間に当院で頭部血管肉腫と診断され、今村総合病院で根治的放射線治療を実施した患者
<b>2. 研究目的・方法・期間</b> 従来、頭部血管肉腫に対する放射線治療は、表在腫瘍を照射することに適した線量分布を形成する電子線と表面線量を担保するためのボースを組み合わせて用いることが多く、高エネルギー X 線は、深在腫瘍への照射に用いられてきました。研究代表機関である今村総合病院では、2017 年 6 月より、ガントリ型強度変調回転放射線治療装置であるトモセラピーを臨床導入しています。トモセラピーで使用できる放射線は高エネルギー X 線 (6 MV) のみであるため、エネルギー特性の観点からは、頭部血管肉腫のような皮膚表在性腫瘍に対する治療効果は、電子線に劣る可能性があると考えられてきました。しかし、2017 年 7 月発刊の『がん・放射線療法 2017』では、トモセラピー特有の機器構造（ヘリカル照射、バイナリーコリメータなど）を活用することで、高エネルギー X 線であっても、病変の形状に応じた照射野を治療計画装置上で作成できるなど、多くの利点があることが報告されています。さらに 2025 年には、鹿児島医療センターおよび今村総合病院において、頭部血管肉腫に対するパクリタキセル併用トモセラピーの治療成績を報告しました。この報告では、重篤な副作用は認められず、電子線治療と同等の全生存率が得られていました。本研究では、頭部血管肉腫に対するトモセラピーの線量分布学的特徴と、局所制御率および有害事象（皮膚障害）との関連を解析します。これにより、本治療法が従来の電子線治療に代わる、安全かつ有効な治療選択肢となり得るかを検討します。研究実施期間は、倫理委員会承認日から 2027 年 3 月 31 日までです。
<b>3. 研究に用いる試料・情報の種類</b> 対象期間中に頭部血管肉腫に対する根治的放射線治療を実施した患者さんの診療記録（年齢・性別・照射線量・照射回数・患部経過写真・生存期間）を使用します。
<b>4. 外部への試料・情報の提供（複数施設研究の場合記入）</b> 研究代表施設へのデータの提供は、氏名、カルテ番号等の直ちに個人が判別できる情報が消去された状態で、特定の関係者以外がアクセスできない電子メールやインターネット上の共有フォルダを介してやりとりされます。対応表は、研究責任者が保管・管理します。
<b>5. 研究組織（複数施設研究の場合記入）</b> 公益財団法人 慈愛会 今村総合病院 研究責任者： 診療放射線部・科長代理 市来 守 研究分担者： 放射線科・非常勤医師 内田 大地 研究協力者： 放射線科・主任部長 西田 博利 放射線科・放射線治療部長 内山 典明 放射線科・放射線治療顧問 土器屋 卓志

○研究協力機関

独立行政法人 国立病院機構 鹿児島医療センター

研究協力者：皮膚腫瘍科・部長

青木 恵美(協力機関研究責任者)

6. 利益相反

ありません

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先まで お申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

施設研究責任者

鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科・部長 青木恵美

住所 〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号

TEL 099-223-1151